



2月18日 (火)

## 神様の平和の道具

エペソ 3 : 14 ~ 4 : 3

平和のきずなで結ばれて、御霊の一致を熱心に保ちなさい。 エペソ 4 : 3

パウロの時代の教会にはユダヤ人も異邦人もいました。今日の教会にも多様な経歴の人がいます。行いによる一致と調和は 神様からの命令です。しかし、神様の助けなしではそれが不可能なことは証明されています。人と人の一致と調和を招く霊は、神様由来のもので 神様を喜ばせるにふさわしいものです。

一致するにはただ一つの方法でしかなく、一致し続けるのにもただ一つの方法しかありません。私たち一人ひとりがバラバラな計画を持っていると、一致も調和も困難です。しかし、教会の中での衝突と仲間割れを避けるような優しく 辛抱強く 寛容な霊は、身勝手さを壊滅させ、クリスチャン一人一人が自分の都合を追い求めるのではなく他の人も気遣うようにさせます。そして、平和のきずなが教会を支配するので。「もし互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです」(ヨハネ 13 : 35)。

私たちは、平和と一致を広める者になり得るのです。そうすることで、神の子と呼ばれる(マタイ 5 : 9) 平和を作る者は、神様を知らない人たちを神様に惹きつけているのです。

讃美歌 520

祈り 主なる神様。あなたの平和を作る道具にしてください。

イエス様のお名前を通してお捧げいたします。アーメン。

ケイ・バーナム・イヴァンズ  
テキサス州 ラボック

2月19日 (水)

## 身支度をしなさい

聖書朗読 エペソ 6 : 10 ~ 17

悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身につけなさい。 エペソ 6 : 11

父親が「あと10分で行かせる。早く支度をしなさい！」と階段の下から大きい声をあげていたことを思い出します。妹と私は急いで支度をしました。服を着ることは、父がその時計画したことをするために必要なことでした。私の家族は米国北部のニューヨークで暮らしていました。寒い1月に上着も帽子も身につけないで 急いで階下に降りていくと、もう一度2階に戻らされて、身支度を全部終わらせるようにと言われました。それは私自身のためでした。凍えから身を守る必要があったのです。

父なる神様は 私たちにすぐ出かけられるように身支度をしなさいとおっしゃいました。真理の帯を締め、正義の胸当てを着け、足には平和の福音の備えをはきなさい。霊的な悪の力から自分を守るための信仰の盾を取り、頭には救いのかぶとをかぶり、御霊の剣すなわち神の言葉を取りなさい。

神様は私たちが今日何に直面するかをご存知です。神様は身支度をしてすぐに出かけられるように話しておられます。それは、私たち自身のためなのです。神の子どもである私たちは、急いで準備をする必要があります。

讃美歌 379

祈り 親愛なる神様。あなた様が備えてくださるので勝利を持って人生に向かっていけることに感謝いたします。

イエス様の御名前によって。アーメン。

マーシャ・D・ドウェル  
テキサス州 ヘロテス

2月20日(木)

## 信仰か恐れか

聖書朗読 エペソ6:10~20

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天にいるもろもろの悪霊に対するものです。 エペソ6:12

サウル王と彼の軍隊はペリシテ人との戦いのために整列しました。サムエルは、サウルを王に選んで任命した時に言いました。「主が、ご自身のものである民の君主として、あなたに油をそそがれたではありませんか。」(Iサムエル10:1)しかし、サウルと彼の軍隊は敵に攻撃することもなく、ゴリアテを恐れて陣営の中で震えていました。サウルは神に信頼することに欠け、誰も負かすことのできない体の大きい兵士しか見ていませんでした。そこにダビデが登場しました。

ダビデは神に信頼を置いている人でした。彼の見方は違っていました。神様の敵は絶対に負けるのだと確信していました。

私たちは、誰もが悪魔との戦いの中にいます。あなたはダビデのような心を持っていますか、それともサウロのような心でしょうか。恐れは神様に従うことから私たちを遠のけます。私たちは、傷つくこともあるでしょうし、嫌な思いもするでしょうし、迫害を受けるでしょう。しかし、神様の勝利はそれに勝るものなのです。

私がこれを書いているすぐ近くにウィリアム・ティンダルが英語に訳した聖書が置いてあります。この聖書は、神様を信じる人々にとって大きな祝福となってきました。しかし、彼はこの神さまのための働きゆえに命を失ったのです。神様は楽になるとは約束していません。神様が約束してくださっているのは勝利です。あなたはまだ戦いの中にいますか。

讃美歌 380

祈り 私たちを滅ぼそうとする敵がいるのだと忘れないようにさせてください。如何なるものも神様を打ち負かすことができないと信じるダビデのような信仰をお与えください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

P・シップリー・メイソン  
テキサス州 ラボック

2月21日(金)

## より大きな存在になることは より小さい存在になること

聖書朗読 ピリピ2:1~11

心の一新によって、自分を変えなさい。

ローマ12:2

すなわち、偉大なる神様は全能者であられるのです。神様は小さなものから大きなもの全ての創造主です。神様はあらゆるところに存在する方であり、全てをご存知で、永遠に存在されるお方です。この素晴らしい神様はこれ以上に大きな存在になりうるでしょうか。

ところが、神様はより小さな存在になることによって、より大きな存在になられたのです！超越的存在であられる神様が、被造物であるちっぽけな人間になられたことは、理解し難いことです。人間の支配者や権力を持つ独裁者としてではなく、人間以下となられ自分を低くし人に仕えるものとなられてこの世においでになりました。神様は今もまだ低い位置にいてくださっています。残酷な十字架を忍耐され、神を嫌う一人一人の罪を贖ってくださいました。神ご自身が人間の形になられ 闇に降りられました。それは、ご自分の愛する創造物を贖うためでした。

より小さな存在になることによって、より大きな存在になられたのです！神であり人間であられるイエス・キリストは、永遠の大勝利を持って死からよみがえられ、最も高い地位に上げられました。そして今日私たちも同じ心構えを持つようにと促されています。他の人たちのためにより小さな存在になることを求めるようにと。そうすることによって私たちも、よりイエス様のような存在になるのです。

讃美歌 II 45

祈り 全能で偉大な神様であられ 愛なる父よ！私たちのためにより小さな存在になってくださって感謝いたします。私たちも同じことができますように導いてください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ダイナ・メラネス  
テキサス州 ビクトリア

2月22日(土)

## 難民(身を避けるもの)

ピリピ3:20~21

けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としてお出でになるのを、私たちは待ち望んでいます。ピリピ3:20

私は最近ホロコーストを生き抜いたポーランドのユダヤ人一家の物語を読みました。その悲惨な時代に彼らは家を失い、財産を奪われ、飢えに苦しみ、囚われの身となり、収容所で働かされ、ひっきりなしに死の恐怖に襲われていました。戦争が終わった時、彼らは国籍もパスポートもない難民となりました。彼らにビザを発行してくれる国を探し、新しい生活を始めようとしていました。

イエス様に従う私たちも、ある意味 難民と言えます。この世で私たちが味わうのは苦悩と喪失で、心が休まることはありません。しかし、私たちは新しい国を探す必要はありません。パウロは私たちの国籍は天にあると言っています。そして、イエス様は御国に私たちの住まいを用意してくださっているのです。そこはパスポートもビザも要らない場所です。なんという約束でしょう。なんという希望でしょうか。

讃美歌 II 23

祈り 親愛なる神様。天国に私たちの住まいを用意してくださってありがとうございます。天国に行くことが楽しみです。神様の御顔を仰ぎ見、主の足元で礼拝できる日を待ち望んでいます。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

ジョイス・ハーディン  
テキサス州 オースティン

2月23日(日)

## いつも喜んでいなさい

聖書朗読 ピリピ4:4~20

いつも主にあつて喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。ピリピ4:4

最近喜んだことはありましたか。旧約聖書と新約聖書の両方に何度も、喜びについて書かれています。喜びとは何でしょう。なぜ私たちは、喜ぶことが必要なのでしょうか。喜びをどのように表現すればいいのでしょうか。喜びは心の状態を表すものです。

イエス様を信じるものは、これを信じます。

イエス様は近くにおられると。

私たちを愛し、心配してくださいと。

必要なものを与えてくださると。

恐れを遠のけてくださると。

希望をくださると。

「人は自分が信じているように行動する」と良く言われます。喜びはどのように表現したら良いのでしょうか。まず、祈りを捧げる時間を取り感謝を捧げましょう。そして、他の人たちに「ありがとう」、「お願いします」などのシンプルな喜びを表しましょう。家族に対しても同じように言いましょう。相手の目を見ながらその人に話しかけましょう。Eメールや手紙や電話や訪問などで個人的に関心を持っていると示し、気にかけていることをお伝えしましょう。

時間をとり、私たちの次の世代の人たちに喜びを伝えましょう。それは全てイエス様のためにです!

日々ごとに喜ぶ決心をしましょう。喜びは、それを与える人にとっても 受ける人にとっても有益です。

讃美歌 448

祈り 私たちがいつも喜びにあふれているようにしてください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

グレンダ・ラバネリ  
テキサス州 ケイティ